

中央線沿線：御前山（730m）～菊花山（644m）

記録：齊藤 整紀【以下敬称略】

●始めに

会企画の2月山行が、コロナ禍や他の計画との調整でGW明けの実施となった。

●2021年5月8日(土) 快晴(最高気温28℃)

●メンバー 齊藤整紀(CL)、西明彦・正子、横堀、太田二人、嶋田、以上7名

●歩程 猿橋駅9:30→神楽山10:30→御前山(昼食)11:00~11:30→菊花山12:30→13:30大月駅
〈合計4時間〉

東京の天気はイマイチの予報ながら、大月方面は晴れで、かつ、かなりの高温予報である。管理係からは「熱中症に気を付けて！」のコメント。待合せの猿橋駅には、1名無断欠席ながら、太田氏二人連れのお蔭で、計画通りの7名編成。この時期にしては、なかなかのパーティである。勘違いの時間調整で予定より30分遅れの出発。

低山ながら、当地特有の急登と蒸し暑さに悩まされるが、尾根に上がると、急に風が爽やかに変わる。僅かに稜線を外れる神楽山は展望がないものの、新緑が目にも優しく沁みる。



続く本命御前山は大展望に感動！空の白さでややボヤけて見えるが富嶽は大きく端正である。



断崖に気遣いながら展望を楽しみつつ、早お昼にした。家族連れや単身のハイカーもいるが、概して人出は少なく、静かである。



八五郎クドレを南に巻いて沢井沢ノ頭で右折、急な下りとアップダウンをこなすと菊花山に至る。富士山は確認できるがクリアではない。この最後の休憩地で二度目の昼食。



ゆっくり下山にかかる。大月の町を見下ろしながら下る。



14時前に大月駅に到着。いつものワイン飲み放題の店に向かうが、この時期、入口が回りくどく、一階で検温後、二階へ。コロナ禍の優等生山梨県は酒が出た！さすがにワイン飲み放題はやっていないが、ビールと生ワインで乾杯！コロナ禍の山行企画は気が引けたが、これだけの賛同者がいた訳で、やってよかった！（了）